

1 学校教育目標

「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる」

2 目指す子ども像

自ら考え行動する子

思いやりのある子

たくましい子

3 目指す学校像（学校経営方針）

『一人一人が輝き、共に学ぶ学校

～学び合い、認め合い、高め合う～』

（１）子ども

子ども一人一人が主体的に学ぶ学校

互いの違いを理解し仲間とともに学ぶ学校

（２）教職員

教職員一人一人が学びのモデルとなる学校

互いの学びを交流し、チームとして支援し合える学校

（３）保護者・地域

保護者や地域の方々が教育活動を支援できる学校

地域の教育財産を活用し、地域に根ざす学びの場としての学校

4 今年度重点目標

（１）研修の充実 【「伝え合う力を育てよう」～個の学びから全体の間へ～】

- ・教職員が、子どもの実態に合わせて取り組み目標を決定し、自らの学びを深めるとともに、互いの学びを発信し交流する。
- ・校内研修を中心に、校外においても積極的に実践を発信するとともに、校外の取り組みを積極的に取り入れる機会とする。

（２）生徒指導の充実

- ・子どもたちが抱える背景を把握し、多面的で温かな子ども理解を通して、全教職員でチームとして丁寧な生徒指導に努める。

- ・児童会活動等を通して子どもたちの自治活動を活性化させることによって、子どもたちの自尊感情や自己有用感を高めるとともに、自律性や他者理解の力を養う。
- ・子どもたちの日常生活における変化に気を配り、子どもと真摯に向き合い、その思いを丁寧に受け止めるとともに、家庭との連絡を密にし、必要に応じて関係機関との連携を図る。

(3) 特別支援教育の充実

- ・特別な支援を必要とする子ども一人一人の状況を把握し、「個別の指導計画・支援計画」に沿って、自立するための力を身につけさせる。
- ・特別な支援を要する子どもへの理解を通して、お互いを尊重できる教育を進める。

5 今年度実践目標

(1) 学級経営の充実

- ・基本的な生活習慣や学習規律の確立などを通して、自立を身につける指導を行う。
- ・学びの場として安全安心で落ち着いた教育環境をつくる。
- ・豊かな人間関係の中で一人一人の自尊感情を育み、達成感や喜びを共有できるよう、計画的で系統的な学級経営を行う。(一人一人が輝くことができる場の設定)

(2) 学習活動の充実

- ・成長過程に応じた学習習慣を系統的に身につけさせ、ねらいの明確化や振り返りを大切にした授業改善を進める。
- ・自然や環境に関心を持たせる環境教育の充実を図り、体験活動などを通して子どもたちが主体的に考え深め合う学びを進める。
- ・少人数授業や高学年の兵庫型教科担任制など学習形態を工夫・活用する。

(3) 人権教育・道徳教育の充実

- ・互いの違いを理解し、自分や他者を大切にする人権教育の充実に努める。

(4) 健康教育・安全教育の徹底

- ・子どもたちが自らの健康に関心を持ち、安全を確保する能力を育成するための健康教育・安全教育を推進する。
- ・安全で安心な教育活動を進めるため、日常から教育環境の整備に努める。

(5) 家庭・地域との連携

- ・ゲストティーチャー・学習ボランティアや地域人材、地域の自然・環境・文化などの学習材を積極的に活用する。
- ・地域に根ざす学校として家庭・地域との連携を深めるために、地域活動に積極的に参加する。